

所在地 湯沢市小野字東水口205番地 2
TEL 0183-56-7310
FAX 0183-56-7311
E-mail ononokomachi@yutopia.or.jp
HP <https://being-aoihana.org>

謹賀新年



羽後町から望む鳥海山

理事長挨拶

理事長 寺門 敏子

明けましておめでとうございます。旧年中は、温かいご支援とご協力をいただきましてありがとうございました。さて、会員の皆様は、新しい年をどのような希望をもってお迎えになられましたでしょうか。

昨年は、振り返りますと色々なことがありました。まず、異常気象と言われた夏の暑さです。何とかその暑さから逃れられたと思いきや、クマの出没です。ビーイングでは、このような中でも今年度の事業をすべてクリアすることができました。ひとえに会員の皆様はじめ、役員、事務局が一致団結して協力してくださったからこそと思い、感謝に堪えません。

9月の講演会では、大森山動物園名誉園長小松守先生から、命の大切さについて、大変温かいご講演をいただきました。現在、秋田県は、自然と動物、人間との共存の難しさに直面しており、皆で考えるいい機会になったと思います。また、10月の岩手の研修で立ち寄った大谷翔平の母校では、野球場の土からそこはかとなく野球少年の努力や精神的育みが感じられるような気がしました。その後、ワールドシリーズでは、延長18回の激闘を制し、ついにドジャースを優勝まで導いた日本の3選手の活躍に日本中を歓喜の渦に巻き込み、一瞬、日々の辛さを忘れさせてくれました。また、随所に見せる日本選手のマナーの良さも改めて感動いたしました。

今年も「幸せの青い花」は、皆を幸せにしてくれました。12月には、「収穫祭」と称して、種を採り袋詰めをし、会員のほのぼのとしたイラストを入れ「幸せの袋」として作りました。この花にも助けられながら、今年も穏やかな年にしたいと念じております。本年も変わらぬご協力とご支援のほどよろしくお願いいたします。

ビーイングの理念

- 1 一人で生きる力の弱い障がいを持つ方々が、家族に頼らなくても、地域の中で生きがいのある安心して生活できる地域社会を創る
- 2 街の中で障がいを持つ方々も自然に行き交う、にぎやかな地域を創る
- 3 老若男女、障がいのあるなしにかかわらず、みんな社会の構成員であることに変わりはない、という観点から、偏見や差別のない「心のバリアフリー」を実現する

ビーイングの活動から

ここまでの主な活動: 講演活動、障害者スポーツへの協力、音楽活動(ふれあいコンサート)、相談事業

(1) 地域活動への協力

ビスコーサでは、小野地区の下小野町内会ふれあいサロンからの要請を受けて、パラリンピックで注目されたボッチャの用具を貸し出しました。そして、小野地区センター体育館で本施設職員2名が、コートづくりから競技のルール説明と審判を手伝いました。競技初心者や高齢者の方も含めて楽しい時間を過ごしていただきました。



ボッチャは、障がいの有無に関わらず、すべての人が楽しめるスポーツです。戦略や正確さが求められ、運も勝敗に影響を与えるため、非常に奥深い競技です。近年では、障がい者スポーツの枠を超えて、より多くの人々に愛されるようになっていきます。

(2) 公開講演会(10月6日)

講師 大森山動物園名誉園長 小松 守 氏
演題 「動物園の素敵な仲間たち」

小松名誉園長のお話は、前半は動物園の素敵な仲間たちの紹介。後半は「命のつながり」をめぐるお話でした。動物の生態の分かるスライド写真を通して、普段は見ることのない姿を知ることができました。

スライドでは、トラの母と子、そして人間の母と子の姿が映し出されました。「人と動物はちがう生き物」でも同じ自然物であり、同じ命でもあるという言葉に納得させられました。現代の社会で起きる様々な事件や現象をみながら、私たち人間も動物の生き方から、命ということを考え直すことも必要だと思いました。



小松守名誉園長のお話に引き込まれました



トラの母と子、人間の母と子の姿

(3) 研修旅行(10月25日)

ビーイング年一回の研修旅行は、総勢11名で行ってきました。今回は、花巻市周辺をめぐってきました。宮沢賢治記念館から始まり、今年3回目のMVPを受賞した大谷翔平の母校花巻東高校を見学しました。その後、お昼を食べて、高村光太郎記念館を回ってきました。

賢治記念館は、周囲を森に囲まれ、湯沢市と同様に、クマ注意の看板がありました。それでも来館者は多く、館内では賢治の世界に浸ることができました。

花巻東高校は、広い駐車場と広い芝生に囲まれた素晴らしい環境の中にありました。こうした中で、野球少年が育てられ、メジャーリーグで活躍する選手が生み出されたと思うと感慨深いものがありました。

(4) しあわせの青い花プロジェクト

花は、秋になると可憐な花を咲かせました。花言葉は「祈り」。正式名は「ナス科ブロウリア属ビスコーサ」ですが、「幸せの青い花」と名付けて知人や法人関係者に配ったのが始まりです。その後、青い花の輪を広げようと2017年に教育機関への寄贈を始めました。

法人のメンバーが、岩手県で教師として勤めていた縁で、同県の支援学校が初めての送り先となりました。それ以降、「花を見た子どもや保護者、先生方、みんなの気持ちが和らいでほしい」と、湯沢市内の小学校や支援学校などを訪問し花を届けてきました。しかし、新型コロナが猛威を振るい、あらゆる活動が中止に追い込まれることとなり、活動は一旦停止しました。

そして今年、プロジェクトが再開されました。「幸せの青い花」は、放課後等デイサービス・ビスコーサの前に花壇が整備され、これまでのプランターから地植えにすることができました。



9月10日、支援学校に届ける花を、理事の皆さんと6つのプランターに移植作業をしました。今年の花は、高温が続いたせいもありプランターからあふれる位の勢いで成長し、竹で支柱を立てて形を整えました。

9月18日、秋田市の県立きらり支援学校を、理事長と理事全員で訪問しました。当日は、代表の子ども達に温かく迎えていただき、直接、青い花を手渡すことができました。そのお返しとして、子ども達が作成したメモ帳や手話のしおりをいただきました。私たちは、この青い花のつながりがさらに広がっていくことを願っています。



代表の皆さんに花のプランターを贈呈

放課後等デイサービ・スビスコースの活動



おにぎり上手に握れたかな？



『能恵姫伝説』と『阿黒王伝説』の2題



そうめんが流れて来るぞ～

(1)子どもたちの活動から

8月8日、会員の方から寄付していただいたお米を使って、「おにぎり大会」を行いました。数種類の具材を準備して、自分の好きなおにぎりを作って食べました。

8月21日、「流しソーメン大会」を行いました。普段、自分たちが使っている玄関から外に向かってソーメンが流され、みんな大喜びで食べました。

同日に「湯沢観光ガイドの会」をお招きして、読み聞かせでお話を二つ聞きました。初めて聞くお話にみんな興味津々でした。



さまざまな形のビスコーサ収穫のさつま芋

ビスコーサの農園で収穫したサツマイモです。今年の気候や畑の状況もあり、細い小さい芋の収穫となりました。これに職員が持ってきたサツマイモを合わせて、フライドポテトを作り、おやつとして食べました。子ども達には大好評でした。

収穫の後に、子ども達と一緒に畑の石を拾い、さらに職員が新しい土を入れました。来年はきっと大収穫になることでしょう。

(2)学習について(指導員9人で対応します)

学習の時間は、学校の宿題とビスコーサで準備しているワーク等の教材で行います。宿題は一緒に考え、アドバイスしながら進めています。また、子ども達の状況に応じて具体物を使った学習も行います。常に職員で打ち合わせをし、子ども達個々の学習の状況と理解について検討し、それをもとに指導に当たります。



「お願いします」で学習スタート

(3)生活について

子ども達は、勉強が終わるとすぐにホールで遊びます。狭い空間ですが、目いっぱい汗をかいて時間を過ごします。トランポリンやボール運動、鬼ごっこ、プラレールなどなど、多岐にわたっています。下は小学校1年生から、上は中学2年生までいますが、お互いに考えながら危険のないように遊んでいます。学習室で学習もしているので、「今、学習中だよ」と声掛けします。常に相手を考えながら行動や生活するように注意しています。



元気に過ごしている子ども達に明治製菓からおやつのプレゼント!!

ご寄付及びお志をいただいた皆様
大変ありがとうございました
菊地ファーム様、田口福志様、
伊藤実紀様、長雄圭子様

会員の募集

NPO法人サポートセンター・ビーイングでは、本法人への活動に賛同いただける方を随時募集しております。お知り合いの方や興味・関心をお持ちの方がおられましたら、下記までご連絡ください。

TEL 0183-56-7310

Mail ononokomachi@yutopia.or.jp

ホームページも公開中です

<https://being-aoihana.org>

ビーイング20年のあゆみ

(抜粋)

H13. 6.15	設立に向けた協議会
H14. 8.30	NPO法人設立総会
H16. 6.10	事務所移転 皆瀬更生園から旧小野保育園へ
H19. 3. 9 11.12	秋田県バリアフリー推進賞受賞（障害者の地域自立支援活動への功績による） 受賞「元気なふるさと雄湯郷づくり賞」秋田県地域振興局
H20. 8. 9 11.20	功績賞受賞 秋田県手をつなぐ育成会秋田県大会 表彰受賞「社会ボランティア賞」ソロプチミスト日本財団年次会 横浜市
H21. 4.15	特別学級支援員配置事業受託（H21～23年度3年継続事業7名の雇用）
H22. 4.10 10. 1	特別支援学級支援員配置事業の2年目 7名の雇用 「ビーイング未来基金」立ち上げ 沓沢寛二氏寄付による
H23. 4. 4	特別支援学級支援員配置事業の3年目 8名の雇用
H24. 6.25	10周年記念式典開催 記念講演「音楽のある生活～今の自分にプラスαで輝く毎日を～」 （日本障害者ピアノ指導者研究会秋田支部長渡部雅子氏）
H25. 5. 8 11. 9	スペシャルオリンピックス日本・秋田湯沢支部設立発起人会開催 実質運営はビーイングが担う 寺門敏子理事長文学賞受賞（ノースアジア大学文学賞エッセイ部門・石川好特別賞）
H26. 6.10 12.14	会歌「幸せの青い花」原曲完成（作詞・寺門敏子、作曲・三好雅夫） 会歌「幸せの青い花」発表音楽会開催
H27.12. 1	事務所移転（横堀交流センター）
H29. 3.10 7.18,19 9. 8	クラウドファンディングによる募金 目標30万円、最終日34.4万円達成 テーマ：あなたに贈りたい「幸せの青い花」プロジェクト 東日本大震災被災地へ「幸せの青い花」植栽 岩手県立釜石祥雲支援学校、三陸花ホテルはまぎく訪問。プランター植えを寄贈 15周年記念式典 記念講演「職業父親～我が子を、親が守らなくて誰が守るのか」（陶芸家高橋和起氏）
H30. 7.31 9. 7	幸せの青い花交流（岩手県奥州市、ゆり支援学校） 家族の集い「花の輪」、市内全小学校へ「幸せの青い花」プランター植え贈呈
H31. 4. 1	放課後等デイサービス・ビスコーサの開設
R 1.11.13 12.11	寄付金受領 東北税理士協同組合より ホテルメトロポリタン秋田 寄付金受領 東北労働金庫秋田県本部より 秋田県本部
R 3. 8.26	県の記念日特別表彰受賞 寺門理事長授賞式参列 秋田県庁
R 4. 6.19	20周年記念式典 記念講演「湯沢と私、そして音楽」（音楽家 島 頼子氏） 記念公開講演会「心で走る」（DeNAランニングアカデミー育成アドバイザー瀬古利彦氏）
R 6. 7.18	公益財団法人日本生命財団様より遊具、図書、本棚の寄贈